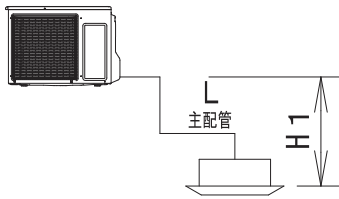


据付例

シングル



■ 配管サイズ

室内、室外ユニット形式	40~56形	
配管サイズ (mm)	ガス管	φ12.7
	液管	φ6.35

■ 冷媒配管長等の許容範囲

項目	内容	シングル(実長さ(m))	
		記号	40~56形
最大許容配管長	室外ユニットより最も離れている室内ユニットまでの片道の配管の長さ	L	≤50
許容高低差	室内外最大高低差	室外ユニットが上の場合	≤30
		室外ユニットが下の場合	≤15
	室内ユニット間最大高低差	—	
チャージレス配管長	現地での冷媒追加不要長さ	—	≤30
冷媒追加量	チャージレス配管長を超えた場合	—	20g/m
室外ユニットチャージレス冷媒量	—	—	600g

■ 冷媒追加量の算出

1. シングル接続

40~56形のすべての室外ユニットは冷媒配管長30mまでは冷媒の追加は必要ありません。チャージレス配管長を超える場合は、室内ユニット接続配管サイズ表の値より液管1m当たりの冷媒追加量とチャージレス配管長を超えた長さで算出し冷媒を追加してください。

室内ユニット接続配管サイズ表の値より液管側サイズと長さで算出し、下式に従って冷媒を追加してください。

● 冷媒追加量 (g)

次の式により計算した結果、冷媒追加量がマイナスになっても冷媒を抜かないでください。
(そのままご使用ください)

$$\text{冷媒追加量 (g)} = \text{主配管冷媒追加量 (g)} - \text{室外ユニットチャージレス冷媒量 (g)}$$

$$56\text{形の場合} = 20 \times (\text{イ}) - 600$$

(イ) 主配管の総長 (m) …… 液管φ6.35 : 実長1m当たりの冷媒追加量 = 20g/m

● 室外ユニット配管サイズ

室外ユニット形式	40~56形	
配管サイズ (mm)	ガス管	φ12.7
	液管	φ6.35
1m当たりの冷媒追加量	20g/m	

※40~56形の室外ユニットとの接続はフレア接続です。

● 室内ユニット接続配管サイズ

室内ユニット形式	40~56形	
配管サイズ (mm)	ガス管	φ12.7
	液管	φ6.35
1m当たりの冷媒追加量	20g/m	

※40~56形の室内ユニットとの接続はフレア接続です。

● 室外ユニットチャージレス冷媒量は600g

品番	CU-SP40, 45G5 (E) (J) -SP50, 56G5 (E) (J) -SP40, 45G5S (E) (J) -SP50, 56G5S (E) (J)	冷媒配管 高効率インバーター Gシリーズ
図番	PA15-03-(55)	